

Frontliner

[フロントライナー]

株式会社日本保健衛生協会
第1事業部
サニタリーグループ
発行責任者/有本由伸

スタッフの皆さん、日々の業務にご尽力いただきありがとうございます。

今年は3年ぶりに行動制限のないゴールデンウィークでお天気にも恵まれましたが、連休にもかかわらず出勤されたスタッフの皆さん、現場業務にご協力いただきありがとうございます。またお休みが取れた方はうまくりフレッシュできたでしょうか。

気温も暖かくなりいよいよ春らしくなってきたところに、北海道の知床半島沖での観光船事故のニュースが報道されました。事故発生から2週間余り、事故の詳細はまだ判明していませんが、これまでの観光船運航会社の管理体制や事故後の対応が問題視されています。

今回の運航会社の体制や対応を他山の石として、当社も安全管理の在り方を見直さなければならないと考えさせられました。

安全はすべてに優先する

清 潔で快適な建物の衛生環境をお客様に提供するために、私たちは作業手順に沿って清掃作業を行います。その際、一番大切にしなければならないものが「安全」です。

私たちの仕事は一見危険な作業がないように見えますが、じつはいたるところに危険が潜んでいます。

清掃作業(日常清掃作業以外も含む)での事故で最も多いのが、転倒(人が転ぶ事故)42%。次に多いのが墜落・転落(階段や脚立から落ちる)23%です。

現 場で作業を行う以上、すべての危険を完全に排除することはできません。いくら作業手順書をつくりルールを整備したとしても、私たち一人ひとりが手順やルールを守らなければ、安全は確保されません。

自分から事故を起こしたい人はいないはずですが、ケガをした人はいないはずですが。

「安全はすべてに優先する」という言葉を、皆で心に留めておきましょう。

人は忘れる生きもの

と はいえ、私たちは危険な目にあっても、すぐに忘れてしまいます。階段から落ちそうになった、清掃カートを押しているときに人とぶつかりそうになったなど、しばらくは気をつけていますが、慣れてくるとすぐに忘れてしまいます。

これは人間の脳が、生きるために必要な情報以外はいらぬものと判断して捨ててしまうからだそうです。意識しなくても脳には絶えず大量の情報が入ってくるので、これらすべてを記憶していたら、脳は5分で限界に達するといわれています。

皆 さんの現場でも業務を行う上でルールがあります。例えば、工場内の交通ルール(指差し呼称やヘルメットの着用など)、洗剤の希釈倍率、モップの置き方、手袋の着用など。うっかり忘れてしまったり、面倒くさいから作業手順を省略してしまったりした経験をお持ちの方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

作業のルールは正しい手順を示すだけでなく、事故やケガを未然に防ぐためでもあります。何度忘れても思い出せるように、お互いに注意喚起しあっていきましょう。

今月の事故事例

4月に当社の現場で3件の事故が発生しました。
それぞれの事故の発生原因と今後の対策をみてみましょう。
自分たちの現場に置き換えてみて、同じような事故が起こらないか想定してみましょう。

事例① 洗剤を希釈する際、目に洗剤が入った

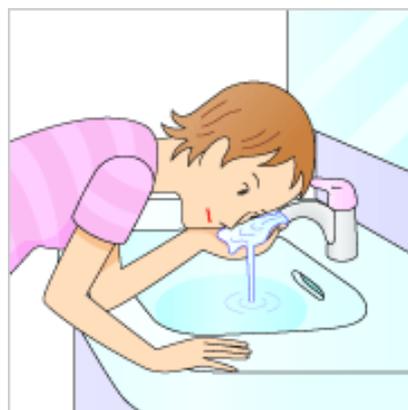
発生状況	トイレ洗剤の原液を、シリンジ(注射筒)を使って清掃用ボトルに入れる作業を行った。 シリンジでボトルに洗剤を注入する際、勢いよく洗剤が出た拍子に、作業スタッフの目に入った。 作業スタッフは白眼に傷が入ったため数日休職となった。
発生原因	●洗剤を希釈する際、ゴーグル着用が徹底されていなかった。 ●先端が着脱式のシリンジを使用していた。
対策	●希釈するときは、必ずゴーグルと手袋を着用する。 ●シリンジの使用を廃止 → 計量カップで希釈する。 ●朝礼と夕礼でスタッフ全員に注意喚起する。 ●希釈作業を行う場所に、注意喚起の掲示を行った。



もし洗剤が目に入ったときは

すぐに流水で目を洗う

- 流水の下に顔を入れて15分以上目を洗いましょう。
- コンタクトレンズは無理に外さず、そのまま洗いましょう。
すぐにレンズが外せる場合は、外してから洗いましょう。
- 目をこすると傷つくので、こすらずに洗いましょう。
- 目薬や洗眼液では十分に洗浄できません。



画像:花王株式会社ホームページ

洗剤を希釈するときは

保護メガネ(ゴーグル)と保護手袋を着用して作業を行いましょう

事例② 手術ベッドのネジを破損させた

発生状況	取り外してあった手術ベッドの脚板を、ベッドに装着しようとしていた。 脚板の上部のみを持って運んでいたため、下部が外れて落下した。 脚板が落下した衝撃でネジが破損してしまった。
発生原因	●脚板を持ち運ぶ際の注意点(下部から支えるように持つ)を忘れて、 上部のみを持ってしまった。
対策	●正しい持ち方をスタッフ全員に説明した。 ●上部と下部が外れやすいことを、スタッフ全員に実際に行って見せた。



○ 脚板の正しい持ち方



脚板の下部から支えるように持つことで、下部が外れるのを防ぐ。

× 危険な持ち方



脚板の上部のみを持ち上げると、下部が外れて落下してしまう恐れがある。

こんなところにも危険が潜んでいます！



事例③ 壁掛け時計を落下、破損させた

発生状況	<p>フラワークリーンで壁掛け時計の除塵清掃を行っていた。</p> <p>その際フラワークリーンで、壁掛け時計を落下、破損させてしまった。</p>
発生原因	<ul style="list-style-type: none"> ●フラワークリーンを強くかけすぎてしまったため、壁掛け時計がフックから外れて落下、破損してしまった。
対策	<ul style="list-style-type: none"> ●フラワークリーンの正しい使い方(軽くなでるようにして埃を吸着する)をあらためて周知した。 ●高所の清掃対象物は、状況に応じて取り外してから清掃する。



○ 正しい使い方



柄を回転させながら、軽くなでるように動かして埃を吸着させる。

× 間違った使い方



昔ながらのはたきのように叩いて埃を落とす。

業務連絡

別添資料のとおり、6月支給分から給与明細を電子発行に変更し、8月支給分から完全電子化となります(6月分と7月分は、従来の紙媒体による給与明細も発行します)。

お手数ですが同封したマニュアルを確認のうえ、事前に登録していただくようお願いいたします。

不明な点は、本社または担当者までご連絡をお願いします。

